

令和3年2月

第7回大野市小中学校再編計画検討委員会  
会議録

日 時：令和3年2月8日（月）午後7時00分～午後8時20分

場 所：結とぴあ 3階 305・306号室

## 第7回大野市小中学校再編計画検討委員会

と き 令和3年2月8日(月)  
午後7時より  
ところ 結とぴあ 305、306号室

1 開会

2 開会あいさつ

3 議事

(1) 小中学校の再編について

(2) その他

4 その他

5 閉会あいさつ

< 出席者 >

委員長	松	木	健	一
副委員長	遠	藤	洋	子
委員	中	村	昌	嗣
委員	松	田	寿	子
委員	朝	日	智	幸
委員	金	井	和	信
委員	山	川	龍	一
委員	常	見	悦	郎
委員	宮	澤	則	博
委員	細	道	常	貴
委員	丸	山	力	哉
委員	上	田	智	亮
委員	山	本	恭	子
委員	伊	藤	惠利	奈
委員	斉	藤	雄	次

事務局(説明者)

事務局長	清	水	啓	司
教育総務課長	横	田	晃	弘
学校教育審議監	千	田		佐
教育総務課課長補佐	松	下	裕	子
教育総務課課長補佐	小	林	勝	信
教育総務課主事	堀		利	考

(書記)

< 傍聴者 >

39人

## 【開会】

【事務局】 本日は39名の傍聴を許可したので報告する。それでは第7回大野市小中学校再編計画検討委員会を開会する。

——<大野市教育理念の唱和>——

## 【開会あいさつ】

【委員長】 この会議も最終に近いのでしっかりと確認していきたい。よろしくお願ひしたい。

## 【議事】

【委員長】 議題に入る前に、令和2年12月24日に和泉地区区長会長、和泉自治会長より要望書が本委員会宛に提出されている。要望書の内容について事務局より説明をお願いする。

——<要望書について事務局説明>——

【委員長】 説明にあったように要望書が出ているが、この委員会としては和泉地区に関して丁寧に論議し、要望書にたがわない論議を進めてきていると思う。出てきている要望書を念頭に置きながら、これからも進めていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

今日は、大野市小中学校再編計画検討委員会の報告書を検討することになる。報告書にまとめるにあたって、なぜ再編するのか、学校教育とは何なのか、前提を確認して論議を整理することで意見が一致してくると思う。前提のところから文をまとめたので、もう一度確認させていただきたい。

——<報告書（案）について委員長説明>——

【委員長】 委員会が出た意見を基にしながら整理をしてきたが、文面的に不確かな部分や意見を十分くみ取れていない部分もあるかと思う。意見をいただきながら修正を加えていきたいと思う。

【委員】 2点ある。1点目、報告書（案）P10の小学校の再編について、中学校の再編と並行して実施するのは大変だと思う。1つの学校が閉校になるとその学校の財産をどうするのかなど様々な準備が必要となる。児童生徒の交流など閉校に向かう準備は大変。令和6年4月に中学校3校、小学校2校、計5校を閉校する準備を一斉に進めるのは無理だと思う。現在進行している、乾側小学校の統合についても、事務的な処理など大変だと聞いている。5校一斉には無理だと思うので、小学校は中学校よりも2年遅らせて令和8年4月の統合を目指してはどうかと提案したい。学校がいくつなくなると、教員は異動とな

り職場を無くす。一斉に5校なくなると一度に多くの教員が大野市外に異動となるので、少し間をあけるといいと思う。

2点目、報告書(案)P11の小学校の5校案について、もっと踏み込んで記載した方が良く思う。和泉小学校、阪谷小学校と富田小学校が一緒になる学校、上庄小学校で3校。市街地を校区としている有終西小学校、有終南小学校、有終東小学校、下庄小学校の4校を再編して2校にし、計5校にするとはっきりと記載した方がいいと思う。小学校については、まず複式を解消するというので第1段階の再編が行われるが、クラス替えをできる規模にするということも踏み込んではっきりと記載した方が良く思う。

小学校の第1段階の統合の時期を2年間遅らせる。市街地を校区とする小学校の再編を2校にするとはっきりと書く。以上2点申し上げた。

【委員長】他にいかがか。

【委員】概ね今出された意見や、報告書(案)に記載されていることは今までの議論のとおりだと思ふ。中学校を2校にする根拠として、専門教科の教員を確保するというところのコンセンサスは得られたと理解している。小学校に関しては複式をまず解消するということについてもコンセンサスは得たと思ふ。一足飛びにクラス替えが実現するような規模にしようということは現実的ではないと思ふ。以前の学校再編計画が頓挫して、この再編検討委員会が開かれ、ここでまとめるものは実効性のあるものでなければいけないと思ふ。そう考えると、まずは小学校の第1段階として複式を解消するというので良いと思ふが、小山小学校の統合先について、小山小学校に隣接する校区となると有終南小学校と上庄小学校になるが、小山地区の視点で考えると、鉾掛が有終西小学校、新庄と飯降が有終南小学校、残りの区が小山小学校と、3つの小学校に分かれている。今回再編が行われても地理的な問題もあり、全ての地区を有終南小学校か上庄小学校に統合することは難しいと思ふ。鉾掛は地理的な問題もあり有終西小学校区として残し、残りの小山地区が全てまとまって有終南小学校に通学するのが自然な流れではないかと思ふ。報告書(案)では「小山小学校と有終南小学校もしくは小山小学校と上庄小学校を統合する」と記載してあるが、「小山小学校と有終南小学校を統合する」でいいのではないかと思ふ。中学校は開成中学校へ進学するというので、小山小学校と有終南小学校では既に何年も交流会が行われているので、スムーズな統合ができるのではないかと思ふ。

【委員長】P10の「もしくは小山小学校と上庄小学校を統合する」を削除してはどうかとの意見だった。

他に修正等あればお願いします。

【委員】通学方法に関して、P9に「スクールバス等を運行する」との記載があるが、中学校は校区の広さから考えるとスクールバスの積極的な利用は否定できないと思ふが、小学校について、通学方法に関して記載されていない。通学方法で学校の選択が変わってくると思ふので、徒歩で通えることを優先させる

のか、スクールバスを積極的に利用するのかを記載した方がいいと思う。

【委員長】P 9の【児童・生徒の「今」を大切に作る環境づくり】のところで「スクールバス等を運行する」と記載してあるところに、「小学校に関しては徒歩で移動できる範囲」と追加するということか。

【委員】P 9のスクールバスの記載についてはそのままがいいと思うが、この委員会として、小学校の通学方法に関しては徒歩で通える地区を優先させるのか、スクールバスを積極的に利用したエリアで考えることを優先させるのか、どちらか決めてP 11に記載した方がいいと思う。

【委員長】具体的にはどちらか。

【委員】アンケートでは歩いて通わせたいとの意見も多かったが、安全性を考えるとスクールバスの方が安全なので判断が難しい。

【委員】今までの議論の中で、歩いた方がいいとの話があったので徒歩を優先にという意見もわかるが、既に上庄校区では遠距離通学になるところは公共交通を利用している。雪が降ると、学校まで歩いて1時間ほどかかることもあるので、距離で〇km以上はスクールバスを積極的に活用すると書き足してもいいのかなと思った。

【委員長】P 11の小学校の欄に、徒歩もしくはスクールバスの活用についても少し議論をして何らかの形で記載した方がいいのではないかと意見だったので、後ほど論議させていただきたいと思う。

4つ意見が出たので確認させていただく。

1点目、P 10の小学校の再編に関して、「小山小学校と有終南小学校を統合する」に修正してはどうかとの意見が出たが、これについて意見等あるか。

——<意見無し>——

【委員長】「小山小学校と有終南小学校を統合する」に修正してよろしいか。

——<全会一致>——

2点目、小学校の再編時期について、令和8年に7校に統合を目指していくとして、期間を2年間ずらした方がいいとの意見が出たが意見等あるか。

【委員】教育委員会事務局としてはスケジュール的に厳しいのか。

【事務局】中学校と小学校を一緒に再編すると教員がかなり厳しいのではないかとのことだったので、現状を申し上げる。今、上庄中学校の教員は校長・教頭・養護教諭・事務職員を含めて11名いる。尚徳中学校も11名いる。中学校の統合により学級数も増えるので22名全員がということではないが、多くの教員が他市町に行くことになることも考えられる。準備段階があるので、他市町から受けいれている教職員を減らしていくことは可能だが、中学校では今申し上げたような現状である。小学校については、小山小学校で9名、阪谷小学校で8名の教職員がいる。小学校は統合しても学級数が増えない。合計すると約40名の教職員が令和6年度に一度に他市町に異動するとなると大変厳しいと考えられる。

【委員長】 小学校の再編については令和 8 年度がいいということだと思ふ。

【委員】 話を聞いていて、小学校の再編は遅い方がいいと思つた。今年から乾側小学校と下庄小学校が統合するが、準備期間はどのぐらいかかっているのか。

【事務局】 乾側小学校の統合については、校舎の耐震問題もあり急な先行再編となつたため、1年かけて準備をしてきている。1年の間に、統合に向けて子ども同士の交流を数回実施し、統合に向けての教育委員会主催の統合記念式典、地区の統合記念事業を含めて、駆け足で準備してきた。

統合する際にはもう少し期間を設けて、子ども同士の交流をしっかりとやっていく必要があり、委員長の話にもあつたように、地域のコミュニティの確立も考えていく必要があると考えている。

【委員長】 小学校の再編を令和 6 年度から令和 8 年度に変更することについて、他に意見はあるか。

【委員】 以前も話をしたが、コロナ禍ということで政府も大野市も財政的に困窮してきている部分はあると思ふ。何年を目標にという話は理事者が長期計画の中で考えなければならないことではないかと思ふ。先ほど話が出た教職員の人員配置についても考えていかないといけないと思ふ。年次については理事者の長期計画等を鑑みながらやっていただくという要望で済ませた方がいいのではないかと思ふ。

【委員長】 令和 8 年度という数字を明記するのではなく、市長の意図等をくみながらやっていくといいということか。

【委員】 やらなければいけないことはすぐにやっていく。この委員会で議論している中でいろいろと問題点が出てきて、すぐにでも解消していかないといけないことは最短でやるべきだと思ふが、その他のことについては財政面も考慮して理事者に判断してもらつた方がいいと思ふ。

【委員長】 この委員会は教育委員会の依頼を受けて開催しているので、報告書も教育委員会に出すことになるが、最終判断は市長になると思ふ。それ以前にこの検討委員会としての目途を示すのはこの委員会の中での話なので、その後どうするかは市長が判断してくれると思つている。

【委員】 元々の令和 5 年度に中学校 1 校、令和 8 年度に小学校 2 校という計画は、理事者も議論に入つた上で作ってきた案だと思ふ。その時には財政的にも実行できるとの思いで作ってきたのだと思ふ。この委員会で令和 5 年度がいい、令和 8 年度がいいと言っても根拠がない。理事者側に忖度してこれだけの期間があればできるだろうと投げかけているのと一緒だと思ふ。そのようなことは理事者が考えればいいことで、根拠としては何もない。希望の点から見れば、小学校は何年も待ってられないので早くしてほしい。校舎は費用をかけて改修する訳でもないなので、地域の人達と児童に理解してもらい早めに統合してはどうかと思ふ。

【委員長】 令和 8 年ということだけではなく、報告書の中身をできるだけ早くと

いう形でまとめてはどうかという意見だった。

他に令和8年のことについていかがか。

【委員】今の意見だとP10の中学校の再編時期についても明記しないことになるのか。

【委員長】さきほど出た意見は令和8年度に限らず、全てにわたって数字を明記するのではなく、早めにという形でまとめてはどうかとの意見だった。

他の項目についても論議したいが、数字を明記するかどうかが一番大きいと思うので意見を伺いたい。

【委員】すぐにできることはすぐにとの意見だったが、他の意見も聞くと、学校を統合すると先生の働く場がなくなることもあり、年度を明記しないとなるといつ統合するのか再度このような会議が必要になると思う。報告書（案）のように年度を明記しておいた方がいいと思う。

【委員】中学校が令和6年度に統合するということについては、令和4年度に中部縦貫自動車道が開通し、令和5年度を準備期間とするため、令和6年度に統合するという案を委員会として出すことは根拠として通じると思う。中学校を2校に統合するための事務手続き等もあり大変だと思うので、それと同時に小学校の統合の話を進めるのは事務的にも大変だと思う。中学校を令和6年度、小学校を令和8年度または令和9年度と示すことはできると思う。

【委員】再編時期に関して、再編までにやらなければいけないことは多々あると思う。その中でもソフトの面で、大野を1つにする教育を子どもたちにも大人にも明確にしていく必要があると思う。それは今十分できることだと思うので、再編時期については報告書（案）のとおりでいいと思う。

【委員】小学校の再編時期について、明確な基準を持つことは大切だと思うが、約40名の雇用の目途がつく段階も提示してほしいと思う。雇用が保障されていないと教員を志す子どもが減り、教員の質の低下にも結びついてくると思う。

【委員長】教員は県の教員なので、大野市の学校が減っても他市町の学校に異動するので、雇用先がなくなるということではない。

数字を出してもあまり意味はないので早急にという形で全体をまとめた方がいいという意見と、現行の数字を出した方がいいとの意見があるがいかがか。

【委員】数字は目安になるので数字の記載は必要だと思う。

報告書（案）の中学校の再編時期についても小学校の再編時期のように、語尾を「望ましい」としてはどうか。

【委員長】大半の方が数字を出した方がいいとの意見だがいかがか。

【委員】意見としてこのような意見が出たということだけ挙げればいい。

【委員長】「望ましい」などの表記の仕方も含めて検討させていただき、数字を出していきたいと思う。

小学校の再編時期について、令和8年度に修正してよろしいか。

——<賛成多数>——



【委員長】 3点目、P 1 1 の 5 校案の中身を具体的に記載してはどうかとの意見が出たが、これについてはいかがか。

――<意見無し>――

【委員長】 小学校を 5 校にしていく時に関しては、校区の見直しについても同時に考えていくことがわかるように表記を変更してよろしいか。

――<全会一致>――

【委員長】 4点目、小学校の区域に関して、徒歩で通える範囲を優先した方がいいのか、可能な限りスクールバスの利用もできるようにした方がいいのか、表記の仕方、表記するかしないかについてはいかがか。

【委員】 徒歩で通える範囲の小学校となると再編は進まないと思う。徒歩で通える範囲の小学校にとすると、同じ小学校に通っていた子を分断してしまうことになるので、距離に応じて多様な通学方法を選択すればいいと思う。スクールバスを利用するという中には、当然それも含まれていると思っている。学校に近い子どもまでスクールバスに乗らなければいけないということでもない。スクールバスに乗るか乗らないかは、保護者と学校が相談しながら決めていくことかと思う。ただし、スクールバスの用意ができていることは当然のことだと思うので、P 9 に明記されているのでこのままでいいと思う。

【委員】 スクールバスを使用できる基準はあるのか。

【事務局】 概ね 4 k m、通学時間は 3 0 分を 1 つの基準としている。国の基準では徒歩や自転車による通学距離としては、小学校 4 k m 以内、中学校 6 k m 以内という基準で、公共交通機関を利用した場合は概ね 1 時間以内が基準とされている。

【委員長】 スクールバスについては、事情に合わせて利用していくということで、報告書（案）のとおりとし、これ以上明記しないこととしてよろしいか。

――<全会一致>――

【委員長】 全体をとおして他にあればお願いする。

【委員】 P 1 1 の「もしくは上庄小学校の」記載の削除が必要。

【委員長】 この部分を削除する。

【委員】 P 1 1 で既存校舎を活用するとあるが、2 段階の再編の将来的なゴールは何になるのか。より長期的な到達点を考えなくてよいのか。

【委員長】 既存校舎を利用するということがまとまっているが、もっと先のことを見通さないといけないのではないかとの意見か。

【委員】 今の校舎を使ったとして将来的に何年使えるのか、維持管理費がどの程度かかるのか、以前事務局から説明があったと思う。この先、既存校舎をずっと利用できるわけではないので、その先のことも含めて考えていかないといけない。

【委員長】 方向性としては、おおよそ 1 0 年の見通しの中での計画を立てていくと明記している。1 0 年以降の先のことについて新たな建物が必要になること

も出てくると思うが、この委員会での報告書は10年間の方向性にしていきたい。

他はいかがか。

——<意見無し>——

【委員長】本日議論していただいたことについて、もう一度集まって論議する必要があるかどうか確認させていただきたい。事務局に報告書（案）の訂正をお願いしてよろしいか。

——<意見無し>——

【委員長】事務局が訂正したものを委員に送付し、意見をいただくという形をとりたい。

——<全会一致>——

【委員長】次回の会議は開催しないこととしたい。

#### 【その他】

【事務局】次回2月18日（木）を予定していたが、この会議は開催せずに、意見があったら事務局に連絡いただき調整させていただくこととする。

以上で本日の日程を終了する。

#### 【閉会】

——<副委員長あいさつ>——

【副委員長】1年かけて大野の子どもたちのことを思って意見をいただけたことに感謝する。まず第1段階目の再編については責任を持って報告し、次の段階も踏まえてどの世代の大野の子どももみんなが大野で育って良かったと思える大野市であってほしいと思う。